

ジャポニズム 2018 レポート

サンジェルマン・アン・レイ国際高校

フィエベ満里

サン・ジェルマン・アン・レイ国際高校のフィエベ満里です。2020年2月、ジャポニズム2018の招へい事業に参加しました。この旅行は、私にとって日本の「美しさ」を見直す素晴らしいきっかけとなりました。この機会を与えてくださったことに心から感謝しています。

私は日本で10日間、東京や京都など、日本のいろいろな側面を見ることができました。また東京の高校で体験授業を受けたり、日本人との交流を深めることができました。このレポートでは、私が特に心に残った経験やこの旅行で学んだことを話したいと思います。



私と同じようにプレゼンテーション発表会に参加したパリの高校生、そして、クラブヴォアの高校生と日本に行きました。同じように日本語と日本が好きな生徒として、とても仲良くなることができました。

はじめに、特に心に残ったことは東京の高校の授業の体験と、高校生との交流です。東京都の白百合学園高校、雙葉高校、暁星高校と埼玉県伊奈学園総合高校に行くことができ、フランス語の授業に参加などもしました。それぞれの学校で、日本にしかない授業や習慣があることに気づきました。例えば、掃除の時間などがあり、他の生徒と一緒に教室をきれいにしました。日本の生徒は、みんなが心地よく勉強に取り組むために、丁寧に掃除をしていることに感動しました。

東京都の3校の高校は、キリスト教を取り入れており、宗教への深い関心が見られました。音楽の授業では、生徒が透き通った声で難しい外国のキリスト教の曲を歌っていて、とても感激しました。

また、生徒との交流はとても貴重な体験でした。授業の後、一緒にお弁当を食べながら、沢山の生徒と話し合うことができました。母が日本人の私にとって、日本の同じ年の高校生はどんな感じなのか、なぜフランス語に興味を持ってくれたのかなど、知りたいことが沢山ありました。



埼玉県の伊奈学園総合高等学校で生徒の皆さんと撮った記念写真です。とても温かく迎えてくれました。

また、この旅行では、日本の文化や伝統をさらに知ることが出来ました。日本各地を回り、日本独特の習慣なども実際に経験出来ました。特に京都や広島では歴史に触れることができ、より日本に興味を持つきっかけとなりました。



京都の世界遺産、伏見稲荷大社を身近で見ることができました。京都の歴史ある建物は、どれも日本らしい鮮やかな色合いを使っていると思います。日本の美しさについて、あらためて考え直しました。

私が日本で何より好きなのは和食です。日本の食文化は季節とともに変わり、自然と一体化していることが分かりました。味はもちろん、目で楽しめる食事だと思います。細かいところまでこだわっており、とても品のある料理だと思います。



京都での茶道体験の様子です。実際にお茶をたてて、みんなでいただきました。

最後に私たちがこの旅行で学んだことについて述べます。私は日本の宗教に関連する山や、伝統、文化、というテーマに沿って研究をしました。私たちが選んだ観点から日本をみることができ、日本の新しい一面を発見しました。日本人は、昔から宗教、特に神道や仏教と深く関わっていることが分かりました。日本人のあらゆる考え方や習慣も、宗教が日々の日常のなかに入っているからだと思います。



龍谷ミュージアムで、日本の仏教と山の関係についてお話をうかがうことができました。日本の山は人々にとって特別な存在であることが分かりました。

この旅行で新しく学んで経験したことは、貴重な思い出となりました。日本人でもある私にとって、日本について興味をより深めることができました。これからも日本とフランスの架け橋のような存在になれたら幸いです。